

派遣留学の手びき

学内申込準備編

2022 年度

小樽商科大学グローバル戦略推進センター
グローバル教育部門

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 1. 小樽商科大学の留学制度について | 3 |
| a. 交換留学..... | 3 |
| b. 専門共通科目(通称「事情科目」)によるプログラム | 3 |
| c. 語学研修(夏季派遣／春季派遣) | 3 |
| 2. 交換留学について | 4 |
| a. 小樽商科大学の協定大学..... | 4 |
| b. 派遣要件..... | 5 |
| c. 申込時期..... | 5 |
| d. 申込手順..... | 6 |
| e. 選考 | 7 |
| f. 奨学金 | 7 |
| g. 語学力 | 7 |
| h. 単位認定..... | 8 |
| i. オリエンテーション(計2回) | 8 |
| j. 留学の計画について..... | 8 |
| 3. 専門共通科目(通称「事情科目」)によるプログラムについて..... | 9 |
| a. 該当科目と実施プログラム例 | 9 |
| 4. 語学研修(夏季派遣／春季派遣)について..... | 10 |
| a. 留学先(派遣実績) | 10 |
| b. 派遣要件..... | 10 |
| c. 申込時期..... | 10 |
| d. 申込手順..... | 11 |
| e. 選考等 | 11 |
| f. 語学力 | 11 |
| g. 奨学金 | 11 |
| h. 単位申請について | 12 |
| 5. お問い合わせ先 | 12 |

1. 小樽商科大学の留学制度について

小樽商科大学には次の3種類の留学方法があります。どの留学方法をとっても、奨学金受給の申込みや、単位認定の手続きを取ることができます。留学の申込時期や申込要件がそれぞれ異なりますので、注意しましょう。

また、年に2回(4月および10月)に留学説明会を実施していますので、そこに参加をして、情報収集を試みましょう。

※2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおり説明会が実施できない可能性があります。

a. 交換留学

小樽商科大学と学生交換協定を結んでいる協定大学に、1～2学期間(約半年～約1年間)留学をします。交換留学中は学年進行するので、帰国後は留年することなく次の年次に進級することができます。

b. 専門共通科目(通称「事情科目」)によるプログラム

専門共通科目の「アジア・オセアニア事情」「アメリカ事情」「ヨーロッパ事情」により、夏季または春季休業期間中に、海外協定大学等で短期の研修(3週間前後)を行います。英語等の語学や地域事情を集中的に学修するプログラムです。研修以外に、商大での事前・事後授業への出席も必要になります。



c. 語学研修(夏季派遣/春季派遣)

夏季または春季休業期間を利用して、3～4週間程度、小樽商科大学が認定する大学や語学学校(オンライン含む)で語学を学びます。

2. 交換留学について

a. 小樽商科大学の協定大学

| | 協定大学名 | | 国名 | 教育言語 | 派遣学生数 |
|----|-------------|---|-----------|-------------|-------|
| 1 | オタゴ大学 | The University of Otago | ニュージーランド | 英語 | 3名以内 |
| 2 | 忠南大学 | Chungnam National University | 大韓民国 | 韓国語 | 3名以内 |
| 3 | ウーロンゴン大学 | University of Wollongong | オーストラリア | 英語 | 2名以内 |
| 4 | ウェスタンミシガン大学 | Western Michigan University | アメリカ合衆国 | 英語 | 1名以内 |
| 5 | 東北財経大学 | Dongbei University of Finance and Economics | 中華人民共和国 | 中国語 | 5名以内 |
| 6 | バイロイト大学 | University of Bayreuth | ドイツ連邦共和国 | ドイツ語 英語 | 3名以内 |
| 7 | エクス＝マルセイユ大学 | Aix-Marseille University | フランス共和国 | フランス語 英語 | 4名以内 |
| 8 | 蘭州大学 | Lanzhou University | 中華人民共和国 | 中国語 | 4名以内 |
| 9 | ロシア極東連邦総合大学 | Far Eastern Federal University | ロシア連邦 | ロシア語 | 2名以内 |
| 10 | ウィーン経済大学 | Vienna University of Economics and Business | オーストリア共和国 | ドイツ語 英語 | 2名以内 |
| 11 | オグレソープ大学 | Oglethorpe University | アメリカ合衆国 | 英語 | 2名以内 |
| 12 | サウスダコタ大学 | The University of South Dakota | アメリカ合衆国 | 英語 | 2名以内 |
| 13 | シェフィールド大学 | The University of Sheffield | 連合王国 | 英語 | 2名以内 |
| 14 | ビフロスト大学 | Bifrost University | アイスランド共和国 | 英語 | 2名以内 |
| 15 | ブルゴス大学 | The University of Burgos | スペイン | スペイン語 | 2名以内 |
| 16 | ベルリン経済・法律大学 | Berlin School of Economics and Law | ドイツ連邦共和国 | ドイツ語 英語 | 2名以内 |

| | | | | | |
|-------|------------------------|--|-------------|----|--------|
| 17 | ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学 | Vietnam National University Ho Chi Minh City International University | ベトナム社会主義共和国 | 英語 | 5名以内 |
| 18 | オウル応用科学大学 | Oulu University of Applied Science | フィンランド共和国 | 英語 | 2名以内 |
| 19 | マラヤ大学 | University of Malaya | マレーシア | 英語 | 3名以内 |
| 20 | レスリー大学 | Lesley University | アメリカ合衆国 | 英語 | 3名以内 |
| 21 | 香港バプテスト大学 | Hong Kong Baptist University | 香港特別行政区 | 英語 | 2名以内 |
| 22 | 台北商業大学 | National Taipei University of Business | 台湾 | 英語 | 3名以内 |
| 23 | ICHEC ブリュッセルマネジメントスクール | ICHEC Brussels Management School | ベルギー王国 | 英語 | 3名以内 |
| 23 大学 | | | 18 各国/地域 | | 62 名以内 |

※学生交換数のバランスが著しく崩れた大学については、本学から派遣する交換留学生を募集しない場合があります。

b. 派遣要件

本学に学位の取得を目的として在籍する成績優秀な学生で、かつ、協定大学において授業科目等を履修し、本学の単位を取得しようとする学生を対象としています。

c. 申込時期

| 期別 | 申込時期 | 派遣先大学 |
|-------------------|---------------|--|
| 第Ⅰ期 (4月～7月出発) | 前年度6月中 | ベルリン経済・法律大学(ドイツ) バイロイト大学(ドイツ) ビフロスト大学(アイスランド) |
| 第Ⅱ期 (8月～11月出発) | 前年度11月～ 1月 | 忠南大学(韓国) 東北財経大学(中国) 蘭州大学(中国) 香港バプテスト大学(香港) 台北商業大学(台湾) マラヤ大学(マレーシア) ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学(ベトナム) ウェスタンミシガン大学(アメリカ) オグレスープ大学(アメリカ) サウスダコタ大学(アメリカ) レスリー大学(アメリカ) |

| | | |
|--------------------------|-------|--|
| | | ビフロスト大学(アイスランド) シェフィールド大学(イギリス) ウィーン経済大学(オーストリア) ブルゴス大学(スペイン) バイロイト大学(ドイツ) ベルリン経済・法律大学(ドイツ) エクス＝マルセイユ大学(フランス) ロシア極東連邦総合大学(ロシア) オウル応用科学大学(フィンランド) ICHEC ブリュッセルマネジメントスクール(ベルギー) |
| 第Ⅲ期 (12月～3月出発) | 5月～6月 | 忠南大学(韓国) 蘭州大学(中国) オタゴ大学(ニュージーランド) ウーロンゴン大学(オーストラリア) ロシア極東連邦総合大学(ロシア) |

※学生交換数のバランスが著しく崩れた大学については、本学から派遣する交換留学生を募集しない場合があります。

d. 申込手順

実際に協定大学に留学するまでに、次の手順で手続きを踏んでいきます。

| | |
|---------------|--|
| 準 備 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 募集要項により、申込できる協定大学、申込締切、申込要件などを確認する(募集時期については上記C.申込時期を参照のこと) 2. 募集説明会に出席し、申込の手順や大まかな流れなどを確認する |
| 小樽商科大学内での手続き | <ol style="list-style-type: none"> 3. 「留学願」(別紙様式1)を受取り、必要事項を記入の上、期日までに国際交流室に提出する 4. 選考試験を受ける 5. 選考試験の結果に基づき、小樽商科大学から協定大学に推薦される (第一希望の大学には推薦されないこともあります) |
| 協定大学に入るための手続き | <ol style="list-style-type: none"> 6. 小樽商科大学からの推薦後、協定大学に願書を提出する 7. 協定大学から入学許可が出る |

留学先の国に入るための手続き

8. ビザの申請をする
9. ビザが下りる
10. 航空券を手配する

e. 選考

交換留学をするためには、選考試験を受ける必要があります。選考試験は主に筆記試験と面接試験からなります。選考試験の結果と、普段の学業成績、語学能力を基に、協定大学への推薦順位を決定します。



f. 奨学金

交換留学での推薦が内定した学生で、各奨学金の申込要件を満たす者は、次の奨学金制度に申込みことができます。申込要件等、詳細については、推薦内定後に案内します。

① 小樽商科大学後援会助成金

商大の同窓会組織である「小樽商科大学後援会」からの寄附により、留学渡航前に、航空券程度の金額(地域によって10~20万円予定)が一時金として支給されます。返還の必要はありません。

② 日本学生支援機構 第二種奨学金(短期留学)

留学前にご自分で選んだ月額(3、5、8、10、12万円のいずれか)が、留学開始月から留学終了月まで支給されます。留学期間が終了したら、返還する義務を負います(卒業まで返還を猶予することも可能です)。

※また、国内の第一種、第二種の奨学金を、留学中も継続することも可能です。

g. 語学力

交換留学を申し込むにあたり、学内申込み時点での語学力の制限はありません。ただし、どの派遣先国・地域へ応募する場合でも、**TOEFL スコアの提出が必須です。**留学を希望する場合は積極的に受験してみてください。

TOEFLは全国の試験会場の他、条件を満たせば自宅で受験することもできます。詳細はテストを実施するETSのウェブサイトでご確認ください。

<https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/>

なお、英語圏へ留学をする学生については、学内申込み時点でTOEFL iBT 61以上が推奨されます。ただし、派遣先では、基本的に学部レベルの授業科目を英語

で受講することから、渡航までに TOEFL iBT 79～80 以上を取得するよう、協定大学から求められています。推薦が決まった後にも、語学力が向上するよう努力を続けてください。

* 協定大学によっては、願書提出時点で TOEFL iBT 71 以上を求められることがあります。

* 協定大学によっては、IELTS 等 TOEFL 以外のスコアが必要になることがあります。

h. 単位認定

協定大学で取得した単位を、60単位を超えない範囲で、商大の単位として認定することができます。

単位認定をするためには、まず、留学先で受講している科目が商大のどの科目に認定することが可能であるかを審査する必要がありますので、派遣先での履修登録が済んだら、その手続きをしなければなりません。

無事に単位を取得できた段階で、「単位認定願」を提出し、商大の単位として認定をします。

詳しい単位認定の仕方については、派遣決定後のオリエンテーションでご説明いたします。

i. オリエンテーション（計2回）

学内選考の結果、協定大学に推薦されることが決まったら、全員参加のオリエンテーションを実施し、派遣留学までの具体的な手続きについての情報提供を行っています。

また、出発直前にもオリエンテーションを実施し、実際に留学をした後の流れ等について説明をします。

計2回のオリエンテーションには、必ず出席しなければなりません。

j. 留学の計画について

交換留学により協定大学へ派遣される学生は、それぞれが大学の代表です。留学中に自己都合で安易に期間を変更するようなことは、協定大学との信頼関係をそこね、以降の交流に悪影響を及ぼす恐れがあります。そのようなことにならないよう、推薦が決まったら、改めて自身の留学の目的や目標を見直し、出発前・帰国後を含めたしっかりとした留学の計画を立て、それを全うするよう努めてください。

留学計画の作成にあたっては、ゼミの指導教員や、短期留学コーディネーターとよく相談し、留学によってゼミや卒業論文作成に影響が出ないことを確認してください。

3. 専門共通科目（通称「事情科目」）によるプログラムについて

大学での授業＋夏季または春季休業中の海外協定大学等での短期（3週間前後）の研修により構成される科目で、卒業所要単位として1～2単位（キャップ外）を修得可能です。

また、海外での研修が語学研修である場合は、語学研修（夏季派遣／春季派遣）と同様、帰国後に所定の語学検定を受けることによって、語学の単位認定も可能です。プログラム参加者は、学内選考を経て決定されます。募集時期や詳細の説明会等については、いずれも manaba 学内掲示板等で告知いたします。

a. 該当科目と実施プログラム例

（※過年度実績により掲載しています。今年度のプログラムについては実際の募集要項で確認してください。）

■ アジア・オセアニア事情：

- ・オタゴ大学（ニュージーランド）での語学研修（英語）
- ・マラヤ大学（マレーシア）での語学研修（英語）
- ・ウーロンゴン大学（オーストラリア）での語学研修（英語）

■ アメリカ事情：

- ・カルガリー大学（カナダ）での語学研修（英語）
- ・ボストン（アメリカ）において、現地大学や文化施設訪問、現地高校生との交流等を行うスタディーツアー

■ ヨーロッパ事情：

- ・ウィーン経済大学（オーストリア）におけるサマースクール（英語による集中講義）
- ・トランシルバニア大学ブラショフ校（ルーマニア）における現地事情を学ぶプログラム

4. 語学研修（夏季派遣／春季派遣）について

語学研修には、夏季派遣と春季派遣があります。いずれも大学の長期休業期間中に、小樽商科大学が認定する語学研修機関で、定められた期間に語学研修を受けてくるというものです。オンラインの語学研修も対象となります。

本学で科目として提供している7外国語のすべてについて、参加が認められています。

a. 留学先（派遣実績）

- 英語圏（アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス等）
- 中国（東北財經大学 他）
- 韓国（カナタ韓国語学院 他）
- フランス（エクス＝マルセイユ大学付属語学学校 他）
- ドイツ（バイロイト大学 他）
- スペイン（ブルゴス大学 他）
- ロシア（ロシア極東連邦総合大学 他）

※下線のついたものは、小樽商大の協定大学

b. 派遣要件

特にありません。申込みをすれば1年次生から参加できます。

c. 申込時期

夏季派遣：5月、春季派遣：12月



d. 申込手順

| | |
|------------------------------|---|
| 準備 | <ol style="list-style-type: none">1. 募集要項により、申込できる語学研修機関、申込締切、申込要件などを確認する2. 募集説明会に出席し、申込の手順や大まかな流れなどを確認する |
| 小樽商科大学内での手続き | <ol style="list-style-type: none">3. 「留学願」(別紙様式1)を受取り、必要事項を記入の上、期日までに国際交流室に提出する |
| 語学研修機関に入るための手続き | <ol style="list-style-type: none">4. 語学研修機関に願書を提出する5. 語学研修機関から入学許可が出る |
| 留学先の国に入るための手続き(現地渡航プログラムの場合) | <ol style="list-style-type: none">6. ビザが必要な国については、申請をする (※該当者のみ:日本人が外国で短期滞在をする場合、多くの国では、ビザの取得が免除されています)7. ビザが下りる8. 航空券を手配する |

e. 選考等

応募者に選考試験等は課されません。提出された申込書類を確認し、問題がなければ参加が承認されます。

f. 語学力

語学を学ぶ留学であるため、基本的にはどのレベルの学生でも語学研修に参加することができます。しかし、特に現地渡航プログラムの場合には、当然のことながら生活をするための最低限のコミュニケーションを取ることができるようなレベルでなければなりません。よって、語学研修への参加は、基礎レベルの語学力がある事が前提となっています。

g. 奨学金

今年度の語学研修参加者への学内奨学金は、残念ながらありません。今後変更された場合は、実際の募集要項によりお知らせします。

h. 単位申請について

語学研修に参加した学生は、その成果を「国際交流科目」の単位として申請できます。さらに、留学終了後に該当言語の語学検定試験を受験し、その結果を提出することで、語学科目の卒業所要単位としても申請可能です。

詳細については、「履修の手引き」に記載されている「留学による単位認定について」>「語学研修における単位認定について」を参照してください。

5. お問い合わせ先

小樽商科大学学生支援課国際交流室(学生センター内)

TEL:0134-27-5262/5263

Email:inljimu@office.otaru-uc.ac.jp

国際交流 HP: <http://www.otaru-uc.ac.jp/international/>

個別に留学相談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

